

● 未経験OK | 製薬・治験キャリア

作業療法士の職務経歴書 強みは“翻訳”で伝わる

担当領域と実績を具体化し、応募先に合わせて強みを翻訳すれば、経験年数が短くても評価されます。



何を書けば正解なのか
いまだに分からなくて…！

書く順番と『誰に読ませるか』さ
え掴めば大丈夫よ。



● 採用担当が短時間で見る3点

1 経験の全体像
冒頭数行でわかるか

2 担当領域と実績
具体的に書かれているか

3 活かせるスキル
応募先向けに絞られているか

全部ぎっしり書けばいいわけじゃ…!?



- この4項目で組み立てる

1 職務要約
経験年数と専門領域を3～4行で

2 職務経歴
施設・対象疾患・担当業務を明記

3 活かせる経験・知識・スキル
専門/対人/連携/管理で棚卸し

4 自己PR
強み→場面→再現性の順で

上から順でいいの。要約で全体を描いて、詳細で裏づけるのよ。



● 転職先タイプ別に見せ方を替える



医療機関・リハビリ施設

対象疾患・訓練技術＝専門性の深さ



介護・福祉分野

生活支援・多職種連携＝暮らしを支える視点



製薬・治験など異業種

記録管理・調整・対人力＝業界外への翻訳



土台は同じ。見せる順番と言葉を、相手に合わせて入れ替える。

なるほど！



● 臨床経験が活きる治験職

CRC（治験コーディネーター）



SMO・医療機関所属。被験者対応と施設調整に、
患者対応・多職種連携が活きる

CRA（臨床開発モニター）



CRO・製薬企業所属。複数施設を訪問。スケジュール
管理と記録の正確さが土台

年収の基準（公的統計）



作業療法士（OT）の平均年収は**443.6万円**。
CRC・CRAは所属や経験で幅がある

治験の主役は患者さん。
寄り添える力は、この業
界でこそ重宝されるの。



• まとめ | 転職先に合わせて強みを翻訳する

- ✓ 採用担当は全体像・実績の具体性・活かせるスキルの3点を見る
- ✓ 職務要約・職務経歴・活かせるスキル・自己PRの4項目で組み立てる
- ✓ 臨床の患者対応・多職種連携はCRC・CRAでも活きる

臨床で培った力は、リハビリの現場だけで完結しないわ。
まずは自分の経験をどんな言葉で伝えるか、情報を集めるところから始めましょう。

